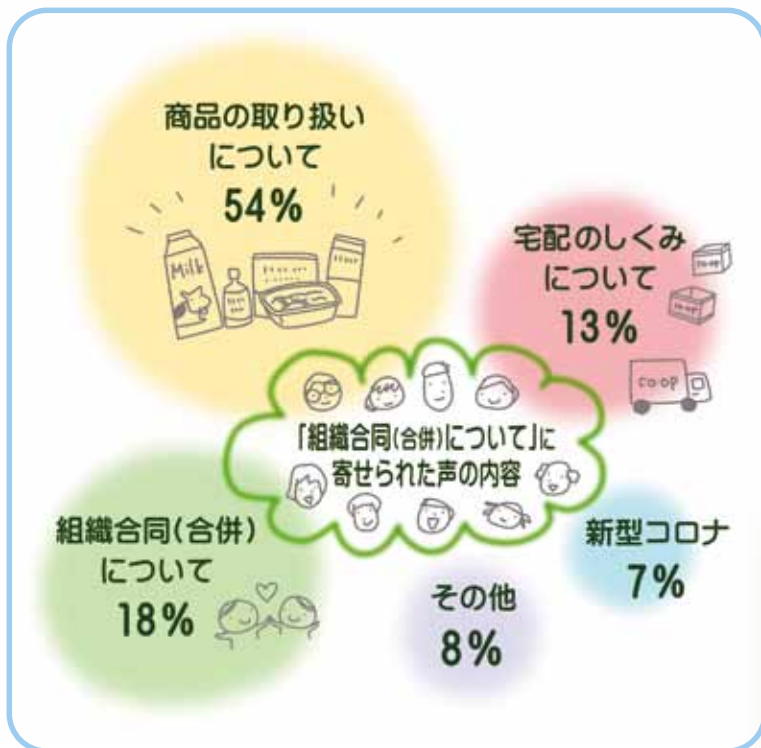


「組織合同(合併)について」に寄せられた声のご報告

5月25日週で組織合同(合併)についての組合員広報チラシを配布したところ、コープにいがた 81 通、コープクルコ 113 通の声が寄せられました。ありがとうございました。

寄せられた声の内訳は、以下のような構成でした。

寄せられた主な声



全国共通のコープ商品は同じなので、統一化した方がよいと思います。コープにいがた・コープクルコが開発した独自性のあるものはできるだけ残してほしいです。

合併そのものについては異論はないです。いつも買っていた商品を購入できること、安心・安全な商品を取り扱っていただきたいことなど、今までどおりお願いしたいです。これからも楽しく買物が続けられるといいなと思っています。

① 商品の取り扱いについて

顔の見える「安全」「安心」な食品や、食材の提供の継続をお願いします。生協だからこそ、こだわり(添加物や農薬・遺伝子組み換え食品などの考え方)を大切に、信頼が持てる生協となって発展してほしいです。

今までも買物をする時に心がけておりましたが、今回の新型コロナの事で国産・地場産を大切にすることが必要だと感じました。大きくなった生協に期待する事としては、国産や新潟産の製造者を育てるためにも、そういう製品を極力取り入れてください!



② 組織合同(合併)について



新潟県を、一緒に皆で愛し、楽しく豊かに盛り上げる、そんな団体であり続けてほしいです。もっと組合員の皆を巻き込んで、いろいろな内容で、地域密着の力を広げてほしいです。

サービスが向上し、私たち組合員の満足度が上がり、生活が豊かになることは、よいことだと思います。組織が大きくなることは、サービスの向上にも繋がっていくと思いますが、そのことによるデメリットも生じるかとも思います。私たちが安心して利用できる生協組織に期待します。

人口減、少子高齢化、人手不足など急速に迫る昨今、身近な問題と先々不安を感じる1人です。組織合同することで、より経営基盤を強固なものとし、コスト削減・効率化を計り、地域社会になくてはならない事業に発展してもらいたいと思います。消費者にますます役立つ組織づくりに期待いたします。

③ 宅配のしくみについて



クルコさんの商品も試してみたいのですが、ページ数も多くなると、チラシ代もかかると感じます。e フレンズ注文の方はチラシを不要に出来ると思います。

規模が大きくなっても、無駄が多くなったりしたのでは、組織合同の意味がありません。たくさん商品を扱いたいのはわかりますが、見ないチラシも多いと思うので、コストカットするなり、1ヶ月に1回だけ配布したり工夫が必要だと思います。

④ 新型コロナについて



コロナ禍の中、頑張っている配送、ありがとうございます。私のような高齢(87歳)者には、生協の宅配が命綱。交通手段も無く、新鮮な食品が手に入りづらい生活の中で本当に助かっています。

組織合同については賛成です。町内に「コープにいがた」と「コープクルコ」2台のトラックが停まっているところを見ると、いつも『もったいない』と思っていました。それぞれの組織により点があると思いますから、上手により点を集めて新出発を楽しみにしています。

私は去年に病気が見つかり、また冬期間雪が多いと車が出せなくて買い物へ行けなかったため、火曜配送のコープクルコ、金曜配送のコープにいがたを利用させて頂いています。私にとって週2回の利用は、買い物に行かずに済むため利点がありました。組織合同すれば、配送が週1回になることは仕方ないと思いますが、病気や他の理由で2つの生協を利用していた人は私以外にもいると思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

※寄せられた声は、要旨が異なるように文書の一部を修正させていただきました。

組織合同 Q & A



Q 両方の生協に加入していますが、組織合同（合併）した時には、手続きが必要になるのでしょうか？

両方の生協に加入されている方は、組合員名簿としては一本化した上で、両方でお預かりしている出資金の合計額を出資金額とさせていただきます。組織合同（合併）が実現しても、特に手続きは必要ありません。



Q 両生協に加入しているのですが、週2回の配達をしてもらっています。組織合同（合併）した場合はどうなるのでしょうか？

今後の組織合同（合併）準備の中で、宅配センターの統廃合計画が協議されることとなります。統廃合は全宅配センター同時には行わず、順次すすめていくことが想定されます。その際に組合員の皆さんにご相談させていただくこととなります。しかし、最終的には週1回の配達に整理していくことになると考えます。



Q クレジットカードを使って、コープの利用代金の支払いができるようにしてください。

クレジット決済の手数料は経営への負担がかなり大きくなります。口座引落は1件あたりいくらという計算になりますが、クレジット決済の場合は売上の何%という形で費用がかかります。しかしながら、これから一層進むと思われるキャッシュレス化にどう対応していくかは重要な事項で、次期中期計画（2020年～2022年）の中で検討課題とさせていただきます。



Q 大きな組織になると、今までのように細やかなサービスが行き届かなくなるような気がします。

現在、コープデリグループでは組合員からの「こえのポスト」や「商品お申し出」と配達担当者の「見たこと聞いたことカード」でいただいた声を「商品の開発・改善」や「品揃えや売場の改善」・「サービスの向上」の取り組みに反映させています。グループの事業連帯の力を活かし、組合員の声に応える仕組みは組織が大きくなったとしても変わりありません。大きくなることで、より細やかなサービスが実現できると考えています。



Q 組合員にとって合併によってよくなることは何ですか？具体的に教えてください。

組織合同（合併）でよくなる事

- ① 規模を拡大し経営力を高め、地域社会や組合員の期待に応えられること
 - ② 生協の取り組みの食の安全・安心、環境、地域福祉、子育て、消費者課題をさらに発揮すること
 - ③ サービスレベル・利便性の向上を継続的にすすめること
 - ④ ブランド価値を高め、消費者団体として「くらしと社会」に大きな発信力を持つことなど、組織合同により、事業経営基盤を強固にすること
- 上記は、いずれについても実現できる可能性が広がると考えています。



Q 今後も生協として「安全・安心」の取り組みを引続き強化してください。

両生協が加入するコープデリ連合会では、カタログ掲載商品の品質を科学の目でチェックする商品検査センターを持ち、微生物、残留農薬、食物アレルギー、食品添加物、放射線物質などの検査を行なっています。食品衛生法や関連する法令および自主基準に適合しているかなど商品の状態を科学的に把握し、商品の改善や品質向上に役立てています。また、組合員から寄せられたお申し出に関する検査も行なっています。「食品の安全性確保に取り組む」ために、管理を徹底し組合員に正確な情報を提供することを大切にしています。今後、「安全・安心」の取り組みをより知っていただけるように、「商品政策の学習会」や広報誌で掲載する機会を増やしていきます。



「組織合同（合併）協議会」キックオフ会議報告

両生協の6月に開催された通常総代会で、「2022年度期首での組織合同（合併）を想定して、2021年度での組織合同（合併）決議をすすめるための『組織合同（合併）協議会』設置について」ご承認いただきました。

このことを受けて、2020年6月24日に『組織合同（合併）協議会』と『組合員理事協議会』の共同でキックオフ会議が開催されました。



今後の予定

※現段階での予定です。時期については変更の可能性があります。

2020年11月

組織合同による
新生協への
「夢アンケート」

新生協『ありたい姿』
の提案へ繋げる

2021年2月～3月

「夢アンケート」
からの新生協
『ありたい姿』
報告

2021年7月

総代会報告と
新生協への
「期待アンケート」

新生協の事業計画
に反映

2021年10月

地区別総代会議で
「期待アンケート」
結果報告

